

平成28年度

(第54事業年度)

# 事業報告書

公益財団法人 マリンスポーツ財団



# 目 次

一 般 概 況 .....	1
---------------	---

## 第1章 事 業

### I 公益事業

1 マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業 .....	2
2 マリンスポーツの水上安全啓発事業 .....	5
3 マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と 水上オートバイ専用施設の運営管理事業 .....	8

### II 収益事業

1 二色の浜公園の運営管理の付帯事業 .....	9
2 特殊小型船舶操縦講習事業 .....	10
3 マリンスポーツ施設の運営事業 .....	11

### III その他継続事業

1 マリンスポーツ競技等の環境整備事業 .....	12
---------------------------	----

## 第2章 組 織

1 理事会及び評議員会 .....	16
2 役員等の動向 .....	16
3 監査 .....	16
4 関係団体との交流 .....	17
5 環境に配慮した活動 .....	17
6 職員等の動向 .....	17
別表1 役員名簿 .....	18
別表2 評議員名簿 .....	18

## 参 考 資 料

1 マリンスポーツ競技に係る講習会、登録状況 .....	19
------------------------------	----



# 事業報告

(第54事業年度)

平成28年4月 1日から

平成29年3月31日まで

## 一 般 概 況

当財団の平成28年度の諸事業は、関係各位の多大なる協力のもと、所期の目的を達成して、ここに終了した。

近年、水辺の事故がクローズアップされることが多くなり、海水浴をはじめとする水辺離れの傾向が顕著になっている。

このような背景のもと、当財団では、より多くの人々が安心して水辺に親しむことができるよう、国内外の関係機関と連携し、水辺の安全性の向上と溺水事故防止に重点を置いて事業を遂行した。

主たる事業としては、「いつでも・どこでも・だれもが」安全、快適に水辺の余暇を楽しめるよう、関係官庁・自治体・公益団体等と連携して、水辺の安全教育等による啓発や、マリンスポーツアクティビティの体験型イベントを通じて海事思想の普及を図った。

また、水上オートバイ等小型船舶を活用する公的機関等に対して安全運航講習会を行い、操船技量の向上を図ると共に、水辺利用を主たる目的とした大阪府営二色の浜公園、新潟県柏崎市みなとまち海浜公園の管理業務においては、利用者に対するルール・マナーの啓発を行い、施設の適正な運営管理を行った。

また、今年度から神奈川県横須賀市のボートパークにおける管理者として指定を受け、施設利用者に対する安全指導を含めた管理業務がスタートした。

その他マリンスポーツの普及活動として、ルールやマナー、安全意識と操縦技能の向上に重点をおいた免許取得講習会を開催するとともに、各種マリンスポーツ競技団体や全国各地のMarisクラブに対して、健全な競技の普及と、地域社会との連携を図れるよう活動への支援・協力を行った。

これらの事業活動についてはホームページ、フェイスブック等を積極的に活用し、有効な周知を図ることができた。

# 第 1 章 事 業

## I 公益事業

### 1. マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業（公益事業 1）

本事業は、海洋知識や水辺の安全対策としての Maris 海洋スクールや、親水体験イベント等を関係官庁、自治体、公益団体等との共催・協力のもと開催し、多くの参加者に対して魅力を体感させることができた。

また溺水事故防止対策として「WEAR IT!ライフジャケットを着よう！プロジェクト」「ライフジャケットレンタルステーション」の推進や、マリンスポーツ活動拠点の整備、器材の貸与等の活動支援を行った。

#### (1) マリンスポーツを通じた親水活動の推進事業

##### ① 親水イベントの開催支援・協力

##### a. 親水イベントの開催

##### (a) マリンスポーツフェスティバル in 蘇我

実施期日 5月1日（日）

実施場所 千葉県千葉市 フェスティバルウォーク蘇我

実施内容 ・スーパーキッズボート体験操船  
・水上オートバイフリースタイルデモンストレーション、SUP 体験乗船、SUP ヨガ体験

参加人数 467名（昨年度313名）

##### (b) 二色の浜 オータムFES. 2016

実施期日 9月25日（日）

実施場所 大阪府貝塚市 二色の浜公園

実施内容 ・スーパーキッズボート、水上オートバイ、カヌー、SUP 体験乗船

参加人数 514名（昨年度112名）

(c) 共催、協力イベント

期 日	行事名称	場 所	参加者数	
			本年度	前年度
5/21-22	マリンスポーツフェスタ in 碧南 (共催：(公社) 日本モーターボート選手会)	愛知県碧南市 (常設訓練所)	776	849
5/29	Marine Sports Festival in 隅田川 (共催：協同組合浅草商店街連合会)	東京都台東区 (隅田川)	294	290
6/11-12	マリンチャレンジ 2016 (主催：UMI 協議会)	東京都江東区 (若洲ヨット訓練所他)	784	239
7/16-17	横須賀うみかぜカーニバル 2016 (共催：横須賀市、Maris クラブ湘南)	神奈川県横須賀市 (うみかぜ公園)	1, 136	706
7/18	「いずみさの関空マリーナ」マリンフェスティバル (主催：泉佐野ウォーターフロント(株))	大阪府泉佐野市 (泉佐野関空マリーナ)	90	90
10/2	隅田川マリンスポーツの祭典 2016 (共催：(一社) 奥浅草観光協会)	東京都台東区 (隅田川)	462	—
合 計			3, 542	2, 174

② 海洋学習 (Maris 海洋スクール) の開催

a. Maris 海洋スクール in 横浜

実施期日 6月10日(金)

実施場所 神奈川県横浜市 関東学院六浦小学校

実施内容 「水辺の安全教室」

- ・海と船の豆知識
- ・ライフジャケットを正しく着よう
- ・ロープワークにチャレンジ

参加人数 49名

③ 「WEAR IT!」(ライフジャケットの着用)活動の推進

a. 「Ready, Set, Wear It!」キャンペーンへの協力

世界中で1日のライフジャケット着用者数世界記録に挑戦するイベントで、ライフジャケットの必要性や、溺水事故防止の呼びかけを目的とするライフジャケットの常時着用を呼びかける国際キャンペーンに参加し、水辺の安全啓発を積極的に推進した。世界記録(10,917名)の更新とはならなかったが、日本からの参加人数を増やすことができた。

実施期日 5月21日(土)

実施場所 神奈川県横浜市(海の公園)

愛知県碧南市(勤労青少年水上スポーツセンター)

大阪、広島、徳島他

参加人数 6,725名（うち日本：3,032名・昨年：2,759名）

b. ライフジャケットレンタルステーションの設置

海水浴場等においてライフジャケットの無料貸し出しを行い、ライフジャケットの認知、及び安全に対する意識を啓発した。

	設置場所		利用者数
1	神奈川県逗子市	逗子海岸海水浴場	1,654
2	静岡県湖西市	新居弁天海水浴場	118
3(新)	神奈川県鎌倉市	由比ガ浜海水浴場	200
4(新)	神奈川県鎌倉市	材木座海水浴場	113
5(新)	神奈川県鎌倉市	腰越海水浴場	121
6(新)	神奈川県藤沢市	片瀬東浜海水浴場	9
7(新)	神奈川県藤沢市	片瀬西浜海水浴場	23
8(新)	神奈川県横浜市	海の公園 海水浴場	22
9(新)	兵庫県神戸市	須磨海水浴場	299
	合計		2,559

④ 親水関連器材の貸出し

a. イベント等での利用

キッズボート、無線機、ライフジャケット、AED他

b. 特殊小型船舶免許の講習会、国家試験における利用

水上オートバイ

(2) マリンスポーツ施設を活用した一般利用者に対する安全啓発事業

① 海浜公園における安全啓発（受託事業）

柏崎市の受託施設において、利用者への指導や施設等の適正な運営を行った。

実施場所 新潟県柏崎市みなとまち海浜公園

実施時期 平成28年4月 2日～ 6月30日のうち21日間

7月 1日～ 8月31日のうち61日間

9月 1日～11月27日のうち34日間 計116日間

業務内容

- ・海岸入場口の管理
- ・マリンスポーツ交流センター（管理棟）の管理
- ・海岸エリアの監視
- ・利用者へのルール、マナーや安全指導

利用状況 過去5年間における当施設の利用状況は表のとおり



区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
登録数（隻）	316	475	246	0	69
登録車両（台）	505	497	131	0	55
利用者（名）	5,232	5,955	3,620	0	230

※27年度は水深が浅く、安全確保の為水上オートバイの利用を禁止した

※28年度は1日30隻限定で水上オートバイの乗入れを再開した

## 2. マリンスポーツの水上安全啓発事業（公益事業2）

### （1）水上オートバイ等安全運航講習会及び水上安全の普及啓発

水上オートバイを活用した安全運航講習会等により救助者の安全意識の向上及び関係機関相互の連携強化を図るとともに、各種イベントにおける水上管理業務やパトロール等による安全、マナー及びルール等の啓発活動を行った。

#### ① 水上オートバイの安全運航教育及び救助技術講習会

##### a. プロフェッショナルレスキュー講習会の実施

期 日	講習種別	場 所	受講者	受講者数
6/24-26	ステージ1・2・3	北海道札幌市	Maris クラブ員等	5
9/6-8	ステージ1・2・3	沖縄県沖縄市	消防士	10
10/18-20	ステージ1・2・3	神奈川県平塚市	試験機関試験員等	4
10/24-26	ステージ1・2・3	神奈川県平塚市	メーカー、試験機関	8
11/3-5	ステージ1・2・3	静岡県浜松市	ライフセーバー、消防士	8
11/6	基礎コース	静岡県浜松市	ライフセーバー、消防士	7
合 計				42

##### b. 水上安全基礎講習会（アウェアネスレベル）等

期 日	講習種別	場 所	受講者	受講者数
6/23	アウェアネス講習	北海道札幌市	消防士・海上保安官他	25
9/5	アウェアネス講習	沖縄県沖縄市	消防士	70
9/13	安全運航講習	東京都府中市	運輸安全委員会職員	10
9/14	安全運航講習	東京都府中市	運輸安全委員会職員	10
10/17	アウェアネス講習	神奈川県平塚市	消防・海上保安部他	28
11/2	アウェアネス講習	静岡県浜松市	消防士、警察官	50
11/8	水上安全教室	新潟県糸魚川市	新潟県海洋高校生徒	39
11/8	アウェアネス講習	新潟県糸魚川市	糸魚川市消防士	40
11/9	水上安全教室	新潟県糸魚川市	新潟県海洋高校生徒	39
11/9	アウェアネス講習	新潟県糸魚川市	糸魚川市消防士	30

期 日	講習種別	場 所	受講者	受講者数
11/17	アウェアネス講習	宮城県仙台市	消防士等	52
2/23	アウェアネス講習	広島県広島市	消防士等	51
3/28	アウェアネス講習	島根県出雲市	消防士等	30
合 計				474

c. 水上安全管理等の活動

期 日	内 容	場 所
4/16-17	広島ボートショー レスキューデモンストレーション	広島県廿日市市
4/26	アジア大会トライアスロン試泳会 安全管理	広島県廿日市市
5/1	マリンスポーツフェスティバル in 蘇我 安全管理	千葉県千葉市
5/29	Marine Sports Festival in 隅田川 安全管理	東京都台東区
6/11-12	マリンチャレンジ2016 安全管理	東京都江東区
6/24	3機関合同海難訓練 (岸和田海上保安署・貝塚警察署・貝塚市消防本部)	大阪府貝塚市
7/3	みやじま国際パワートライアスロン 安全管理	広島県廿日市市
7/9	NOWS 茅ヶ崎烏帽子岩OWS大会2016 安全管理	神奈川県茅ヶ崎市
7/16-19	東京海洋大学海洋実習（1期生） 安全管理	千葉県南房総市
7/23	第7回サマーフェスティバル宮島 安全管理	広島県廿日市市
7/26	戸田ボートレース場サマーフェスティバル 安全管理	埼玉県戸田市
7/30-8/2	東京海洋大学海洋実習（2期生） 安全管理	千葉県南房総市
8/13	オープンウォータースイムレース 安全管理	神奈川県三浦市
8/27-28	湘南オープンウォータースイミングレース 安全管理	神奈川県逗子市
10/2	隅田川マリンスポーツフェスティバル 安全管理	東京都台東区

②水上安全に関する国内外との連携強化

a. IBWSS (International Boating & Water Safety Summit)への参加

平成28年3月7日（月）～10日（木）まで、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴにおいて開催された「第20回インターナショナルボートینگ&ウォーターセーフティサミット（IBWSS）」に日本からは当財団から3名の他、（一財）日本海洋レジャー安全・振興協会、（一社）水難学会、日本小型水難救助艇協会等から合計12名が参加し、国際的な水上安全に関する動向、舟艇事情等の情報収集及び関連機関との連携強化を図った。日本からは、（一社）水難学会理事より、東日本大震災における津波からの生還体験と「ういてまて」手法を紹介し、当財団からは財団の事業活動について紹介した。また、メディアキャンペーンコンテストにおいて、当財団の啓発ツール等が多数表彰を受けた。

- b. 第1回水上安全運航サミット JAPAN Boating & Water SafetySammit(J B W S S)の開催  
水上安全をテーマとして、舟艇及び水上安全等に関わる団体が集い、情報の発信と共有、団体間の効果的な連携、協調により、更なる水難の防止、安全対策の向上を図ることを目的に実施した。

場 所 東京都江東区越中島 東京海洋大学

参加者 16団体・51名

- c. TPSPプロジェクトへの協力

東京港湾区域、運河、河川における水上オートバイの安全で健全な利用の推進を図るため、「東京港・湾・河川における水上オートバイ安全航行プロジェクト (TPSP)」に参画し、一般ユーザー等に対する安全講習会や、水上オートバイによる周辺パトロールを通じて安全指導を行った。

- (a) 水上オートバイによるパトロール

回 数 7月/1回、3月/2回 計3回

場 所 東京周辺運河等

- (b) 水上オートバイ安全講習会

回 数 4月/3回、5月/3回、6月/5回、7月/5回、8月/1回  
9月/1回、10月/1回、2月/2回、3月/3回 計24回

場 所 東京都江東区、夢の島マリーナ他

受講者数 1,417名 (昨年度536名)

### ③水上安全対策の強化

- a. K38 JAPANミーティング&トレーニング

期 日	内 容	場 所
4/22	メンバーミーティング (日本小型水難救助艇協会合同)	東京都江東区
8/21-27	IRBボートレスキュートレーニング	岩手県釜石市

- b. インストラクターの育成

期 日	内 容	場 所
3/12-15	RWCインストラクタートレーニング (4名)	カリフォルニア州

### 3. マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と水上オートバイ専用施設の運営管理事業（公益事業3）

大阪府の指定管理施設において、公園管理業務に加え、水上オートバイ利用者への安全に関する指導、周辺海域の監視など適正な運営を行った。

#### (1) 二色の浜公園の運営管理事業（指定管理事業）

- 管理期間 平成28年4月1日から平成29年3月31日
- 所在地 大阪府貝塚市
- 管理施設 公園、スポーツ施設管理（野球場、テニスコート他）  
水上オートバイ施設、バーベキュー施設
- 業務内容
- ・各施設の運営及び維持管理
  - ・水上オートバイ施設利用者のルール、マナー及び安全指導
  - ・周辺海域の監視

#### ① 公園利用状況

##### a. 公園利用者数（平成28年4月1日～平成29年3月31日実績）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
来園者	67,000	172,484	53,440	95,856	99,101	57,816	46,120	35,232
テニスコート	1,327	1,698	1,276	1,970	1,775	2,079	1,252	1,475
軟式野球場	218	632	792	590	498	407	717	370
球技広場	682	1,155	868	1,423	690	815	933	1,052
スポーツ広場	0	158	30	98	30	620	128	512

	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
来園者	22,536	21,360	21,732	42,984	735,661名	773,028名	95%
テニスコート	945	853	707	1,268	16,625名	15,894名	104%
軟式野球場	180	366	368	572	5,710名	5,599名	102%
球技広場	1,221	1,425	703	1,124	12,091名	13,524名	89%
スポーツ広場	404	276	246	600	3,102名	6,718名	46%

##### b. 水上オートバイ専用施設利用状況（平成28年4月1日～平成29年3月31日実績）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
利用船舶	112	219	223	646	661	209	94	43
新規登録	22	22	30	68	70	16	10	5
更新登録	3	10	10	41	29	12	3	2

	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
利用船舶	54	37	44	74	2,416隻	2,489隻	97%
新規登録	6	3	1	13	266隻	290隻	91%
更新登録	0	2	0	4	116隻	141隻	82%

## ② 施設を活用した事業活動

期 日	行事名称	参加人数	
		本年度	前年度
7/30	キッズボート体験乗船会	28	37
9/25	二色の浜 オータムF E S. 2016	514	112
9/25	清水国明直伝！1Day アウトドア教室	19	—
11/25	二色の浜公園ウォーキングDAY	59	63
12/11	クリスマス 野外パーティー	19	—
1/15	新春！お正月イベント	19	—
2/5	Happy バレンタイン！スイーツパーティー	24	—
合 計		682	212

## II 収益事業

収益事業では、指定管理業務に付随する駐車場、便益施設、船舶保管の運営業務のほか、水上オートバイの免許取得講習会を実施した。

### 1. 二色の浜公園の運営管理の付帯事業（収益事業1）

大阪府の指定管理施設において、駐車場、バーベキュー施設、売店などの便益施設の運営管理を行った。

#### (1) 海浜公園における駐車場管理・物販事業

実施時期 平成28年4月1日から平成29年3月31日  
 実施場所 大阪府貝塚市（沢、脇浜、二色南地区）  
 業務内容 駐車場、附属施設の運営及び維持管理

利用状況 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
入場車両	6,075	14,991	4,842	8,767	8,746	5,388	4,160	3,121
野外炉利用者	1,983	4,296	2,802	2,303	3,034	1,285	2,101	432

	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
入場車両	1,951	1,878	1,918	3,981	65,818台	69,545台	95%
野外炉利用者	39	11	0	265	18,551名	20,536名	90%

## 2. 特殊小型船舶操縦講習事業（収益事業2）

本事業では、水上オートバイのルールやマナー、操船技術、安全意識の向上に重点をおいた特殊小型船舶操縦の免許取得講習会を実施した。

### （1）Maris ジェットスクールの運営事業

#### ① 試験コース

次のとおり講習会を14回開催し、国家試験が26回実施された。

期 日	種 別	場 所	人 数	
			講習	試験
4/16.7/9.8/20.10/15.3/11	Maris ジェットスクール	多摩川ボートレース場	31	
4/17.7/10.8/21.10/16 3/12	特殊小型船舶操縦士 国家試験	多摩川ボートレース場		40
4/16.6/23.7/28.9/9.10/7	Maris ジェットスクール	桐生ボートレース場	65	
4/24.6/24.7/29 9/10.10/8	特殊小型船舶操縦士 国家試験	桐生ボートレース場		67
5/15.6/5.8/24	Maris ジェットスクール	二色の浜公園海浜緑地	7	
4/3.20.5/8.18.6/11.22 7/9.20.8/6.17.9/4.28 10/2.10/19.11/6	特殊小型船舶操縦士 国家試験	二色の浜公園海浜緑地		94
8/24	Maris ジェットスクール	新潟県立海洋高校	9	9
3/21	特殊小型船舶操縦士 国家試験	新潟県立海洋高校		1
合 計			112	211

#### ② 教員育成

一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会が実施する小型船舶教習所教員初任研修に1名が参加した。

#### ③ 教習体験乗船会

高校生に対して水上オートバイの免許教習体験を次のとおり実施した。

期 日	内 容	場 所	受講者数
7/21-22	教習体験乗船会	新潟県立海洋高校	80

### 3. マリンスポーツ施設の運営事業(収益事業3)

#### (1) マリンスポーツ関連施設の管理・運営

今年度新たに横須賀市より指定を受け深浦ボートパーク、浦賀ボートパークにおいて施設運営管理を行うとともに、利用者に対する安全運航に関する指導や地元自治会と協働した自然観察会、地域住民を対象としたイベントを開催し施設の活性化を図った。

実施時期 平成28年4月1日から平成29年3月31日

実施場所 神奈川県横須賀市 深浦ボートパーク及び浦賀ボートパーク

業務内容 施設の管理及び利用者への安全啓発、指導

#### ① 施設を活用した事業活動

##### a. 海の駅への登録

認定日 5月1日(日)

名称 よこすか・ふかうら海の駅

利用者数 ビジター棧橋 27件(前年度は2件)

##### b. 「Ready, Set, Wear It!」ライフジャケット着用者数世界記録への協力

実施期日 5月21日(土)

実施内容 ライフジャケットの重要性を周知、1日の着用者数世界記録への挑戦

参加人数 20名

##### c. 深浦ボートパーク第1回海洋スクール

実施期日 6月4日(土)～6日(月)

実施内容 「海のトリビア」展示(悪天候の為4日午前中のみ実施)  
クサフグ産卵観察会

参加人数 300名

##### d. 深浦ボートパークミニマリンフェスタ

実施期日 9月4日(日)

実施内容 キッズボート、水上オートバイ乗船体験

参加人数 121名

##### e. 安全講習会

実施期日 12月13日(火)

実施内容 船長の遵守事項講義、AED操作実習、発航前の点検指導、曳航手法実習

#### ② 施設利用数

(平成29年3月31日現在)

	深 浦	浦 賀	計
係留船舶数	92	54	146隻
駐車場利用台数	11,376	3,133	14,509台

### Ⅲ その他継続事業

各種マリンスポーツ競技団体や、全国各地の Maris クラブに対し、活動への支援・協力を行った。

#### 1. マリンスポーツ競技等の環境整備事業

##### (1) マリンスポーツ競技団体への活動支援

マリンスポーツ競技団体の運営体制、競技の普及、安全対策に対して支援を行った。

##### (2) 競技団体に対する運営支援

支援内容	支援先
団体助成	(特非)日本水上スキー・ウェイクボード連盟 (JWSA)
	全日本学生水上スキー連盟 (JCWSF)
	日本ジェットスポーツ連盟 (JJSF)
	日本パワーボート協会 (JPBA)
運営協力	日本アマチュアボートレース連盟 (JABF)
	日本ソーラー・人力ボート協会 (JSHA)

##### ① 支援競技団体が実施した競技会

###### a. (特非) 日本水上スキー・ウェイクボード連盟、全日本学生水上スキー連盟

期 日	競技会名	場 所	参加者数
9/2-4	第 61 回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会	秋田県大潟村 (大潟村水上スキー場)	(9大学) 182
9/8-11	2016 FISU 世界大学水上スキー選手権大会	秋田県大潟村 (大潟村水上スキー場)	(19大学) 145
10/8-11	第 62 回桂宮杯全日本水上スキー選手権大会	滋賀県草津市 (琵琶湖津田江浦)	160
合 計			487

###### b. 日本ジェットスポーツ連盟

###### (a) 全日本選手権シリーズ戦 (クローズドコース競技)

期 日	競技会名	場 所	参加者数
4/16-17	第 1 戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	108
5/21	第 2 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	102
5/22	第 3 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	107
6/18	第 4 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	104
6/19	第 5 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	105



期 日	競技会名	場 所	参加者数
7/16	第 6 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	112
7/17	第 7 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	122
9/10-11	第 8 戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	128
合 計			888

(b) フリースタイル全日本選手権シリーズ

期 日	競技会名	場 所	参加者数
6/18-19	第 1 戦	和歌山県和歌山市(和歌山マリーナシティ)	8
7/16-17	第 2 戦	神奈川県横須賀市(うみかぜ公園)	10
8/20	第 3 戦	広島県江田島市(ボートパーク広島)	10
9/10-11	第 4 戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	11
合 計			39

c. 日本ソーラー・人力ボート協会

期 日	競技会名	場 所	参加隻数
8/27-28	全日本選手権大会2016	愛知県碧南市(日本MB選手会常設訓練所)	14

d. 日本パワーボート協会

期 日	競技会名	場 所	参加隻数
4/7	アクアバイク JAPANCUP2016 ROUND1	大阪府貝塚市	12
5/15	TOPS2016第56回クラブ合同レース	茨城県神栖市	23
5/22	アクアバイク JAPANCUP2016 ROUND2	愛知県蒲郡市	11
6/19	アクアバイク JAPANCUP2016 ROUND3	愛知県蒲郡市	11
7/17	アクアバイク JAPANCUP2016 ROUND4	愛知県蒲郡市	13
9/11	アクアバイク JAPANCUP2016 ROUND5	大阪府貝塚市	10
9/18	2016日本グランプリパワーボートレース in 蒲郡 アクアバイク JAPANCUP2016 ROUND6	愛知県蒲郡市	68
10/23	TOPS2016サーキットレース Round 2	茨城県神栖市	14
12/4	芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース	神奈川県箱根町	54
合 計			216

e. 日本アマチュアボートレース連盟

期 日	競技会名	場 所	参加者数
4/3	2016 関東連盟K400 第1戦	桐生ボートレース場	30
4/24	第20回淡路島ちどり賞競走第1戦	兵庫県 浦壁大池	30
6/12	2016 関東連盟K400 第2戦	桐生ボートレース場	30
5/29	第20回淡路島ちどり賞競走第2戦	兵庫県 浦壁大池	36
7/3	2016 関東連盟K400 第3戦	桐生ボートレース場	30
8/19	第16回東海グランプリ	常滑ボートレース場	30
合 計			186

(3) マリンスポーツ団体に関連する競技者、資格者、競技艇等登録の推移  
 当財団支援団体の競技者等登録状況は、【参考資料】(P.19) のとおり

(4) Maris クラブへの支援

① サンクスマリン21支援事業

a. Maris クラブの主催事業への支援

期 日	行 事 名 称	開催場所	参加者数
6/1-2	横浜開港祭 キッズボート乗船会	神奈川県横浜市	498
7/2-3	マリンスポーツフェスティバル in あいおい	兵庫県相生市	304
7/9-10	水上オートバイ及びキッズボート体験乗船会	北海道砂川市	23
7/17	マリンフェスタ in 小樽	北海道小樽市	197
7/23-24	キッズボート体験乗船会 in 浜名湖ボートレース場	浜名湖ボートレース場	409
7/23-24	マリンスポーツフェスティバル in WAKAYAMA	和歌山県和歌山市	700
7/25-26	2016 マリンスポーツフェスティバル in いわき	福島県いわき市	1,627
7/30	マリンスポーツ体験乗船会 in かしわざき	新潟県柏崎市	355
7/31	第16回ウォーターフェスタ in 小見川	千葉県香取市	329
8/7	浦臼 夏の味覚まつり	北海道浦臼町	176
合 計			4,618

b. ボランティアネットワーク

(Maris クラブの登録・認定)

登録番号	ク ラ ブ 名	会員総数	新規会員	認定年月日
1	Maris クラブ 東 京	18	—	2002年05月02日
2	Maris クラブ 和歌山	24	—	2004年06月17日
3	Maris クラブ いわき	20	—	2004年08月13日
4	Maris クラブ 千 葉	11	—	2011年02月24日
5	Maris クラブ 柏 崎	10	—	2003年12月25日

登録番号	クラブ名	会員総数	新規会員	認定年月日
6	Maris クラブ 大 阪	10	—	2004年01月07日
7	Maris クラブ 愛 知	12	—	2006年06月01日
8	Maris クラブ 広 島	10	—	2004年09月07日
9	Maris クラブ 相 生	18	—	2004年09月07日
10	Maris クラブ 湘 南	16	—	2004年09月14日
11	Maris クラブ 淡路島	10	—	2004年09月14日
14	Maris クラブ 北海道	12	—	2007年11月07日
15	Maris クラブ 玉 野	10	—	2008年02月05日
16	Sea Net 浜松	—	—	2015年06月02日
計		181	0	

## 第 2 章 組 織

### 1. 理事会及び評議員会

本年度は、理事会を2回、評議員会を2回開催した。

#### (1) 理事会

回	期 日	場 所	議 題
第 13 回	平成 28 年 6 月 8 日	笹川記念会館 4 階第 6 会議室	(1) 平成 27 年度事業報告及び決算報告（案）の承認について (2) 次期会長、理事長、常務理事の選出について (3) 規程の改廃(案)について (4) その他緊急を要する件
第 14 回	平成 29 年 3 月 14 日	笹川記念会館 4 階第 4 会議室	(1) 平成 29 年度事業計画及び予算（案）並びに付帯決議（案）の議決について (2) 規程の一部改正（案）について (3) 次回理事会、評議員会の開催について

#### (2) 評議員会

回	期 日	場 所	議 題
第 10 回	平成 28 年 6 月 24 日	アークヒルズクラブ クラブルームC	(1) 平成 27 年度事業報告及び決算報告（案）の承認について (2) 評議員の選任について (3) 規程の一部改正（案）の承認について
第 11 回	平成 29 年 3 月 14 日	笹川記念会館 4 階第 4 会議室	(1) 二色の浜公園指定管理者の指定について (2) 平成 29 年度事業計画及び予算について

### 2. 役員等の動向

平成 28 年 6 月 24 日 糸川 正 晃 評議員 就任

平成 29 年 3 月 31 日現在の役員、評議員は別表 1. 2 (P. 18)のとおりである。

### 3. 監 査

本年度の監査は、次のとおり実施された。

期 日	実施者	場 所	内 容
平成 28 年 6 月 2 日	当財団監事	当財団 会議室	平成 27 年度事業報告及び決算

#### 4. 関係団体との交流

本年度は、関係団体の式典、会議等に役職員が出席し、これらの団体との交流、業界の情報交換等を行い、当財団の円滑な運営を図った。

##### (1) 関係団体

会議等名	出席回数	内容
表彰式典等	4	やまと学校卒業式、社会貢献者表彰式典 優秀選手表彰式典

##### (2) 官庁・海事関連団体等

主催団体	出席回数	会議内容
国土交通省	5	UMI協議会・小型船舶安全対策検討会
海上保安庁	1	海の安全推進アドバイザー意見交換会
東京都港湾局	1	東京港運河利用ルール検討会
日本マリン事業協会	5	総会、PWC部会、BJ連絡調整会議
マリン関係団体等	1	舟艇分科会

#### 5. 環境に配慮した活動

当財団の環境マネジメントシステムによる事業活動を行い、業務改善見直しによる省エネ、コストダウンを実現した。また、日常の管理活動を維持、継続することにより職場環境の向上を図り、環境影響への負荷を低減した。

#### 6. 職員等の動向

年度末における職員数は、男性職員1名の退職に伴い6名、常勤顧問1名、嘱託7名、臨時職員23名であった。

なお、嘱託職員（安全運航教育員）が、海上保安庁の海の安全推進アドバイザーに選任された。

## 別表. 1

役員名簿（第3期）

平成29年3月31日現在

役職名	氏名	所属
会長	笹川 堯	
理事長	笹川 善弘	
常務理事	岡村 一臣	
理事	松木 勇	ヤマト発動機株式会社 相談役
理事	中島 敬夫	株式会社三益産業 代表取締役
理事	野口 旭	元 東京都モーターボート連盟会長
監事	竹内 清治	元 財団法人競艇振興センター 会長
監事	大濱 秀夫	株式会社新東通信

任期：平成28年6月24日から2年以内に終了する事業年度のうち最終の定時評議員会まで  
(平成30年6月)

## 別表. 2

評議員名簿（第2期）

平成29年3月31日現在

役職名	氏名	所属
評議員	梶原 義明	元 財団法人日本科学協会 常務理事
評議員	笹川 和弘	群馬県マリンスポーツ連盟 会長
評議員	本間 徹	特定非営利活動法人 日本水上スキー・ウェイクボード連盟 会長
評議員	関田 宏	元 ヤマト発動機株式会社 常務取締役
評議員	北田 靖則	公益財団法人献血供給事業団 専務理事
評議員	糸川 正晃	元 衆議院議員

任期：平成28年6月24日から4年以内に終了する事業年度のうち最終の定時評議員会まで  
(平成32年6月)

## 参 考 資 料

### 1 マリンスポーツ競技に係る講習会、登録状況

#### (1) モーターボート競技関係

##### ① 新規登録者の推移

サーキット・オフショア（日本パワーボート協会）

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
選 手	19	15	15	17	24

K400クラス（日本アマチュアボートレース連盟）

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
選 手	30	44	40	28	44

##### ② 選手・競技艇等の登録状況推移

（選手の登録者数）

サーキット・オフショア（日本パワーボート協会）

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
選 手	195	196	193	223	210

K400クラス（日本アマチュアボートレース連盟）

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
選 手	360	370	271	245	246

（公認競技員、登録検査員の登録者数）

サーキット・オフショア（日本パワーボート協会）

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
公 認 競 技 員	41	37	34	34	30
登 録 検 査 員	30	29	27	29	26
合 計	71	66	61	63	56

K400クラス（日本アマチュアボートレース連盟）

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
公認競技員	91	85	61	56	53
登録検査員	44	41	21	23	23
合 計	135	126	82	79	76

(競技艇の登録隻数)

サーキット・オフショア (日本パワーボート協会)

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
OFF シリーズ	29	27	26	30	37
V シリーズ	30	29	28	32	37
F シリーズ	37	35	31	35	33
ハイドロシリーズ	9	9	8	8	4
S シリーズ	2	1	1	1	1
合 計	107	101	94	106	109

K400クラス (日本アマチュアボートレース連盟)

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
K400	199	157	133	137	110

(2) 水上スキー競技関係

① 会員等の登録管理

(会員の登録者数)

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
一 般	218	230	254	193	212
学 生	154	154	225	255	299
ジュニア	12	13	19	25	22
合 計	384	397	498	473	511

(ジャッジ、ドライバーの登録者数)

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ジャッジ	125	151	151	156	156
ドライバー	81	100	100	121	121
合 計	206	251	251	277	277

(3) ジェットスポーツ競技関係

① レーシングライセンス講習会

(新規選手講習会の受講者数)

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
選 手	14	7	8	7	9



## (選手の登録者数)

区 分	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
プ ロ 級	69	55	62	61	54
A 級	59	64	58	62	88
B 級	68	49	42	37	40
フリースタイル級	29	22	17	8	17
合 計	225	190	179	168	199

## (競技員、検査員の登録者数)

区 分	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
競 技 員	23	17	17	12	13
検 査 員	33	32	32	31	33
合 計	56	49	49	43	46

## (競技艇の登録隻数)

区 分	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
スキーディビジョン	210	189	88	60	41
スポーツディビジョン	20	22	16	5	5
ランナバウトディビジョン	6	34	21	14	20
ランナバウト 1200	20	4	2	0	3
ランナバウト 1600	130	113	28	31	24
合 計	386	362	155	110	93

平成28年度事業報告書は、以上のとおりです。

平成29年3月31日

会 長 笹 川 堯 印

平成28年度事業報告書に基づき監査した結果、いずれも事業報告書のとおり  
事業が完了したことを認めます。

平成29年 月 日

監 事 竹 内 清 治 印

監 事 大 濱 秀 夫 印